HAND RAILS

階段手すりカタログ

YOKOMORI
https://www.yokomori.co.jp

株式会社 横森製作所

本　　社　〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-29-2　TEL.03-3460-9211
北海道支店　〒066-0051 北海道千歳市泉沢 1007-242　TEL.0123-48-6612
東 北 支 店　〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台ビル 9F　TEL.022-275-5377
名古屋支店　〒480-1165 愛知県長久手市鴨田 102　TEL.0561-63-9510
大 阪 支 店　〒553-0005 大阪府大阪市福島区野田 5-17-22 大拓ビル 2F　TEL.06-4804-9031
広 島 支 店　〒732-0824 広島県広島市南区的場町 1-3-6 広島的場ビル 2F　TEL.082-535-0015
九 州 支 店　〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出 1-18-3 馬出 1 丁目ビル　TEL.092-645-2301

製品の仕様及び外観は改良のため、予告なしに変更されることがあります。　カタログコード 31-2212-CR 22-12-01

YOKOMORI

「階段屋」としての伝統と
技術の結晶がここにも息づく。

現代の建築に求められるあらゆる鉄骨階段を供給するヨコモリは、手すりについてもスペシャリストです。階段同様に設計から施工まで高度にオンライン化されたコンピュータシステムにより自動生産されるものから、伝統の職人技を活かして手作りするものまで、3 つのタイプを取り揃えてニーズにお答えしています。美しい仕上がり、高い寸法精度、設計者の感性に応えるデザインバリエーション。用途によってお選びいただく 3 つのタイプの製品すべてに、ヨコモリの技術革新の成果と階段一筋に歩む伝統の精神が息づいています。

p.04　カタログの使い方について

■ p.06　**ハンドメイド手すり**

p.08　部材組み合わせ INDEX
p.10　製品紹介
p.19　施工例
p.22　補足解説
—笠木・足元の取付タイプを選べます—

■ p.24　**外部階段用手すり**

p.26　bon 手すり
p.28　パネル手すり / 面格子手すり

■ p.30　**フリーデザイン装飾手すり**

カタログの使い方について

ヨコモリのハンドメイド手すりのデザイン選びはとてもシンプル。組み合わせの自由度の高さにヨコモリの豊富な経験が生きています。部材の組み合わせ方から製品を分類し、豊富にある製品の中から分かりやすく選べるようになっています。

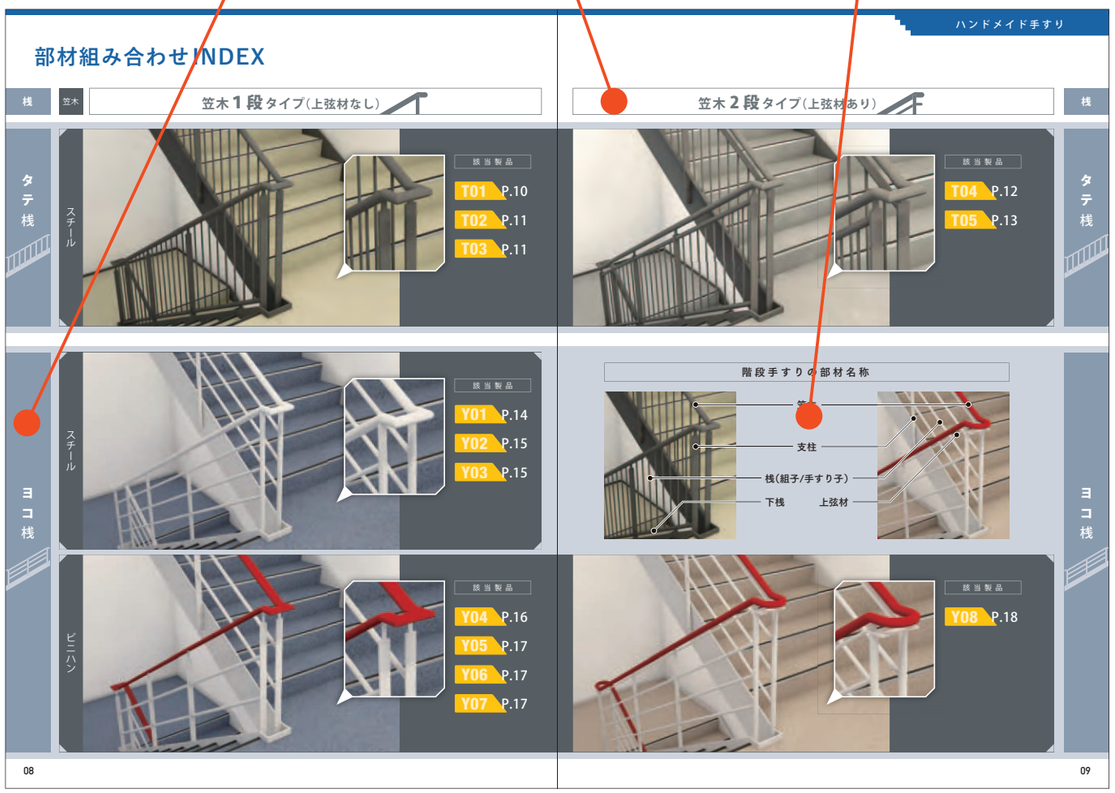
部材組み合わせINDEX p.08〜09

ハンドメイド手すりは、主に「笠木」「支柱」「桟」の３つの部材から構成されています。その中でも見た目の大きな違いを生む「笠木および上弦材」と「桟」の組み合わせにより製品を分類した表（マトリクス）を用いて、ご希望の製品のページまで素早く誘導します。

はじめにマトリクスの縦軸から桟の向き（タテ・ヨコ）を選び、次に笠木の種類（スチール・ビニハン）を選びます。

次に、横軸から上弦材の有無を選ぶことで、該当する製品を絞り込むことができます。

階段手すりの各部材の名称を掲載しています。



製品詳細ページ p.10〜18

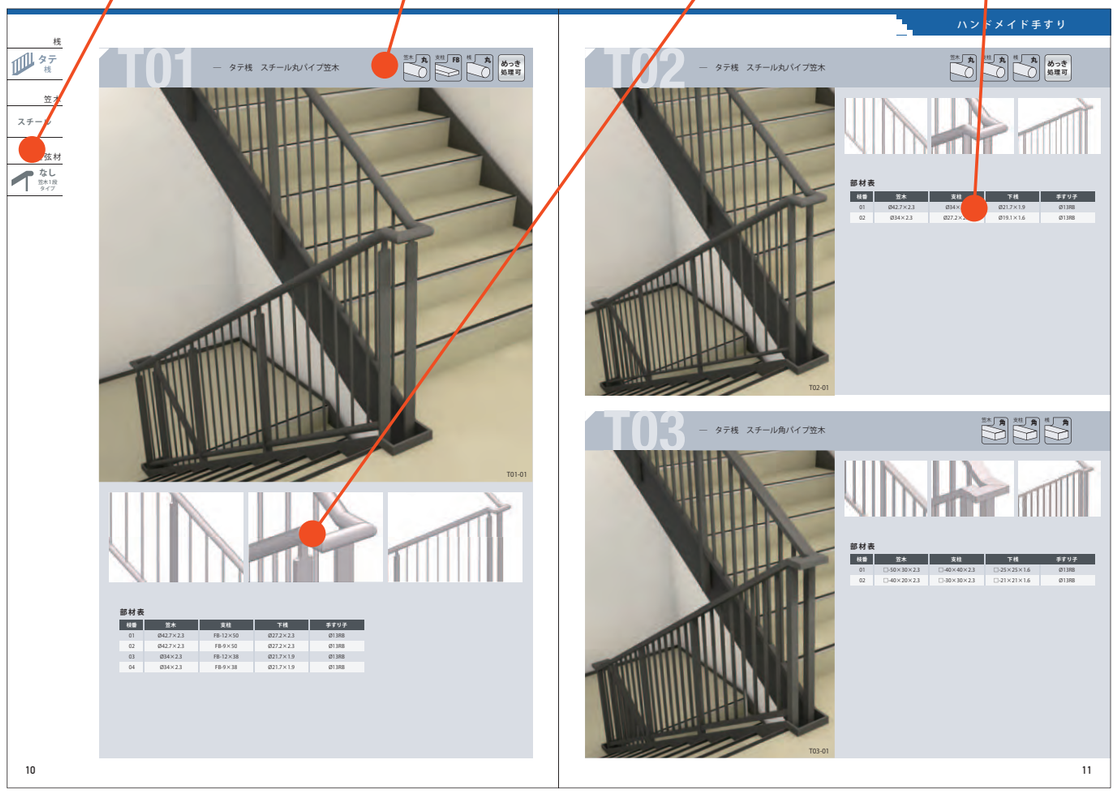
部材組み合わせ INDEX から誘導された製品詳細ページでは、さらに部材形状の違いによるバリエーションを大きなイメージ画像で閲覧・比較することができます。各部の拡大画像や部材の寸法なども掲載され、より具体的に詳細を検討することができます。

桟・笠木・上弦材の種類を、ページ端のツメ部分で確認できます。

各部材の種類（丸パイプ・角パイプ・FB）をアイコンでわかりやすく表示します。

輪郭線付きの拡大CGで各部材の形状を分かりやすく表示します。

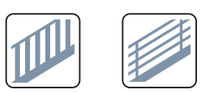
各部材の詳細の寸法表を掲載しています。



アイコンについて

カタログ内で使われているアイコン類は以下になります。

桟の向き



タテ　ヨコ

笠木段数（上弦材の有無）

上弦材あり　上弦材なし

部材形状

丸パイプ 丸棒　角パイプ　FB

めっき処理の可否

めっき処理を施すことで防錆性が向上します。

ハンドメイド手すりに溶融亜鉛めっきを施す場合の注意点

溶融亜鉛めっき処理は 500℃の高温亜鉛めっき槽にドブづけするため、角パイプ・FB を笠木・組子などに使用した場合、めっきだれや高温による形状変化を起こす場合があります。笠木・組子には丸パイプを、手すり子にはφ13 丸棒をお選びになるようおすすめしています。

※詳細につきましては弊社担当者とご相談ください。

階段のある
空間に個性を。

笠木 FB　支柱 丸　桟 丸

Y06 P.17

1 ハンドメイド手すり

建築用装飾金物のメーカーとしてのルーツを持つヨコモリが製作するハンドメイド手すり。施工者、利用者の双方から求められるものを追求し続けた結果、システマチックな構成で階段に様々な表情を与えることが可能になりました。

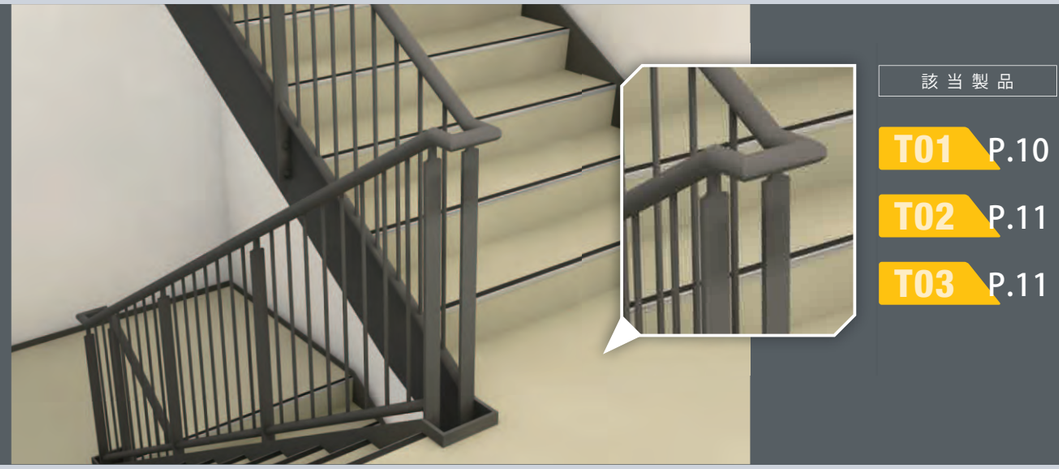
部材組み合わせINDEX

タテ桟

笠木

笠木1段タイプ（上弦材なし）

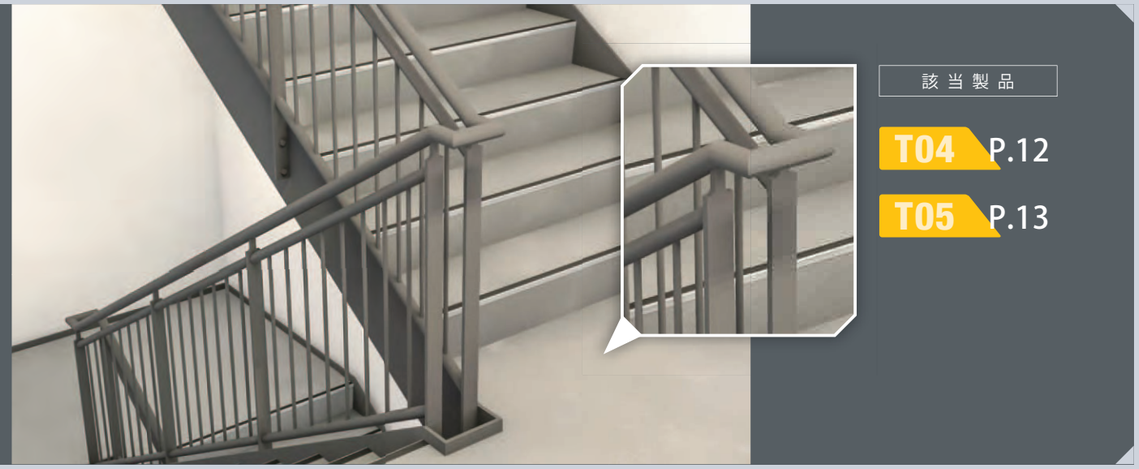
スチール



該当製品

T01 P.10
T02 P.11
T03 P.11

笠木2段タイプ（上弦材あり）



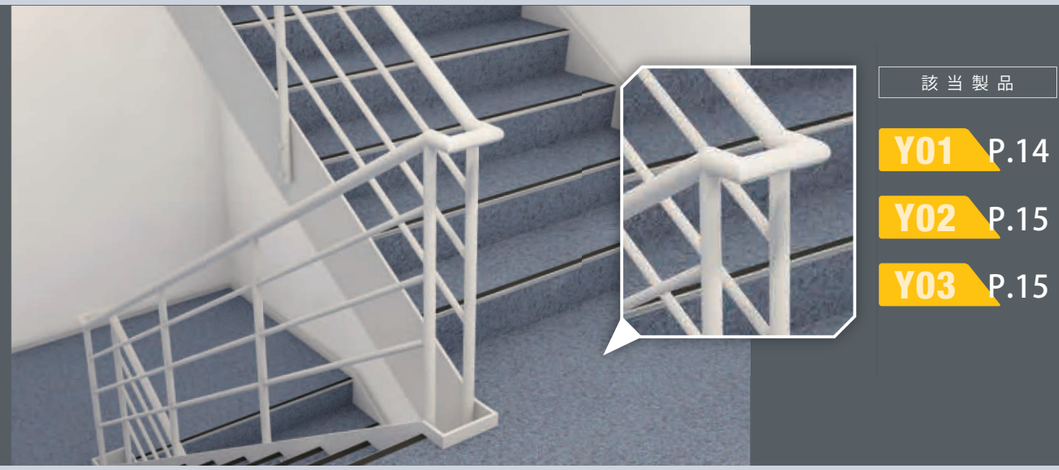
該当製品

T04 P.12
T05 P.13

タテ桟

ヨコ桟

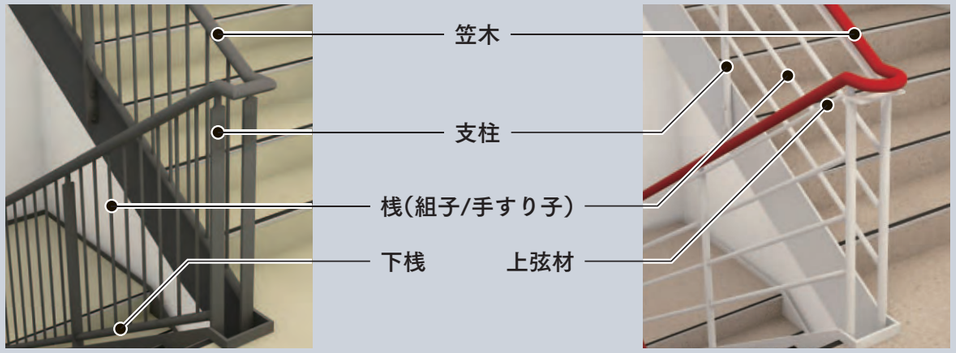
スチール



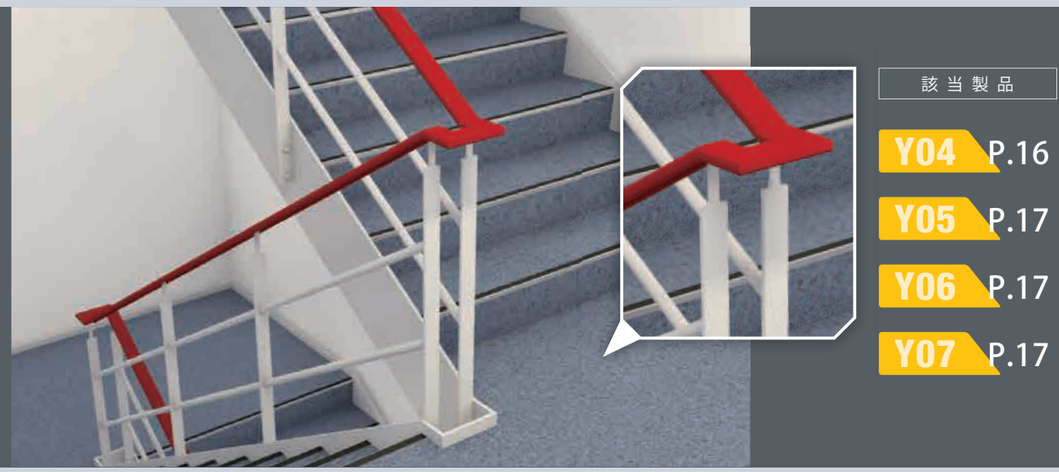
該当製品

Y01 P.14
Y02 P.15
Y03 P.15

階段手すりの部材名称



ビニハン



該当製品

Y04 P.16
Y05 P.17
Y06 P.17
Y07 P.17

該当製品

Y08 P.18

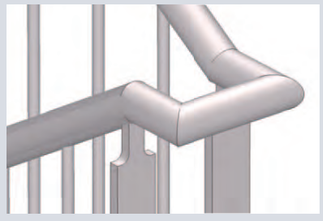
タテ桟

ヨコ桟

T01 — タテ桟　スチール丸パイプ笠木

笠木 丸　支柱 FB　桟 丸　めっき処理可

T01-01



部材表

枝番	笠木	支柱	下桟	手すり子
01	Ø42.7×2.3	FB-12×50	Ø27.2×2.3	Ø13RB
02	Ø42.7×2.3	FB-9×50	Ø27.2×2.3	Ø13RB
03	Ø34×2.3	FB-12×38	Ø21.7×1.9	Ø13RB
04	Ø34×2.3	FB-9×38	Ø21.7×1.9	Ø13RB

T02 — タテ桟　スチール丸パイプ笠木

笠木 丸　支柱 丸　桟 丸　めっき処理可

T02-01

部材表

枝番	笠木	支柱	下桟	手すり子
01	Ø42.7×2.3	Ø34×2.3	Ø21.7×1.9	Ø13RB
02	Ø34×2.3	Ø27.2×2.3	Ø19.1×1.6	Ø13RB

T03 — タテ桟　スチール角パイプ笠木

笠木 角　支柱 角　桟 角

T03-01

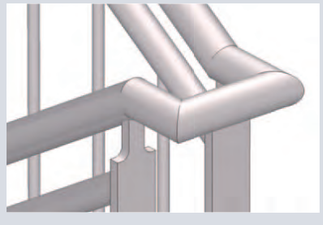
部材表

枝番	笠木	支柱	下桟	手すり子
01	□-50×30×2.3	□-40×40×2.3	□-25×25×1.6	Ø13RB
02	□-40×20×2.3	□-30×30×2.3	□-21×21×1.6	Ø13RB

T04 — タテ桟　スチール丸パイプ笠木

笠木 丸　支柱 FB　桟 丸　めっき処理可

T04-01



部材表

枝番	笠木	支柱	下桟	手すり子
01	Ø42.7×2.3	FB-12×50	Ø27.2×2.3	Ø13RB
02	Ø42.7×2.3	FB-9×50	Ø27.2×2.3	Ø13RB
03	Ø34×2.3	FB-12×38	Ø21.7×1.9	Ø13RB
04	Ø34×2.3	FB-9×38	Ø21.7×1.9	Ø13RB

T05 — タテ桟　スチール丸パイプ笠木

笠木 丸　支柱 丸　桟 丸　めっき処理可

T05-01

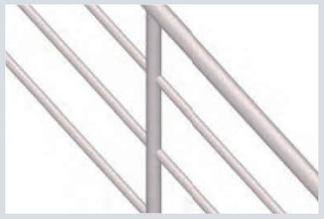
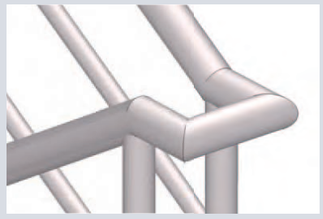
部材表

枝番	笠木	支柱	下桟	手すり子
01	Ø42.7×2.3	Ø34×2.3	Ø21.7×1.9	Ø13RB
02	Ø34×2.3	Ø27.2×2.3	Ø19.1×1.6	Ø13RB

Y01 — ヨコ桟　スチール丸笠木

笠木 丸　支柱 丸　桟 丸　めっき処理可

Y01-01

部材表

枝番	笠木	支柱	桟(組子)
01	Ø42.7×2.3	Ø34×2.3	Ø21.7×1.9
02	Ø42.7×2.3	Ø34×2.3	Ø16RB
03	Ø34×2.3	Ø27.2×2.3	Ø16RB

Y02 — ヨコ桟　スチール角パイプ笠木

笠木 角　支柱 角　桟 角

Y02-02

部材表

枝番	笠木	支柱	桟(組子)
01	□-50×30×2.3	□-40×40×2.3	□-25×25×1.6
02	□-40×20×2.3	□-30×30×2.3	□-21×21×1.6

Y03 — ヨコ桟　スチール FB 笠木

笠木 FB　支柱 FB　桟 FB

Y03-01

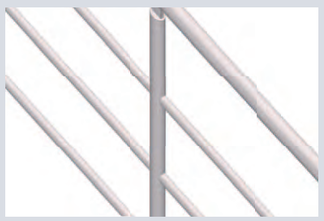
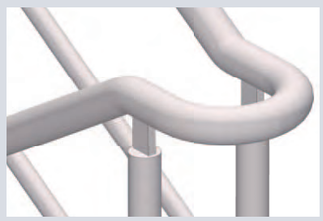
部材表

枝番	笠木	支柱	桟(組子)
01	FB-12×50	FB-12×50	FB-9×38
02	FB-12×38	FB-12×38	FB-9×38
03	FB-9×38	FB-9×38	FB-9×38

Y04 — ヨコ桟　丸ビニハン笠木

笠木 丸　支柱 丸　桟 丸

Y04-01

部材表

枝番	笠木	支柱	桟(組子)
01	Ø40丸ビニハン	Ø34×2.3	Ø21.7×1.9
02	Ø40丸ビニハン	Ø34×2.3	Ø16RB
03	Ø40丸ビニハン	Ø27.2×2.3	Ø16RB
04	Ø34丸ビニハン	Ø34×2.3	Ø21.7×1.9
05	Ø34丸ビニハン	Ø34×2.3	Ø16RB
06	Ø34丸ビニハン	Ø27.2×2.3	Ø16RB

※ビニハンドレールは当社外工事になります。

Y05 — ヨコ桟　平ビニハン FB 笠木

笠木 FB　支柱 FB　桟 丸

Y05-01

部材表

枝番	笠木	支柱	桟(組子)
01	FB-9×50	FB-12×38	Ø16RB
02	FB-9×38	FB-12×38	Ø16RB
03	FB-9×38	FB-9×38	Ø16RB

Y06 — ヨコ桟　平ビニハン FB 笠木

笠木 FB　支柱 丸　桟 丸

Y06-01

部材表

枝番	笠木	支柱	桟(組子)
01	FB-9×50	Ø34×2.3	Ø16RB
02	FB-9×38	Ø34×2.3	Ø16RB
03	FB-9×38	Ø27.2×2.3	Ø16RB

Y07 — ヨコ桟　平ビニハン FB 笠木

笠木 FB　支柱 角　桟 丸

Y07-01

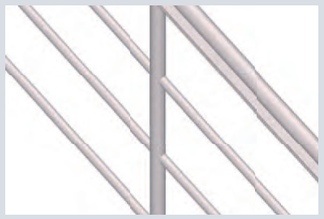
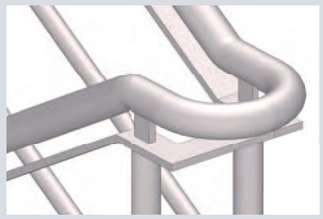
部材表

枝番	笠木	支柱	桟(組子)
01	FB-9×50	□-30×30×2.3	Ø16RB
02	FB-9×38	□-30×30×2.3	Ø16RB
03	FB-9×38	□-25×25×2.3	Ø16RB

Y08 — ヨコ桟　丸ビニハン笠木

笠木 丸　支柱 丸　桟 丸

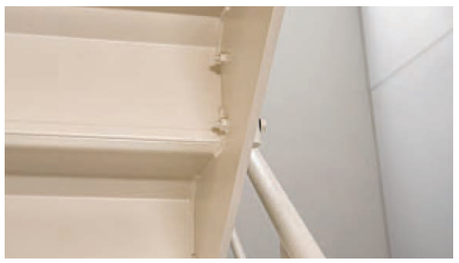
Y08-01

部材表

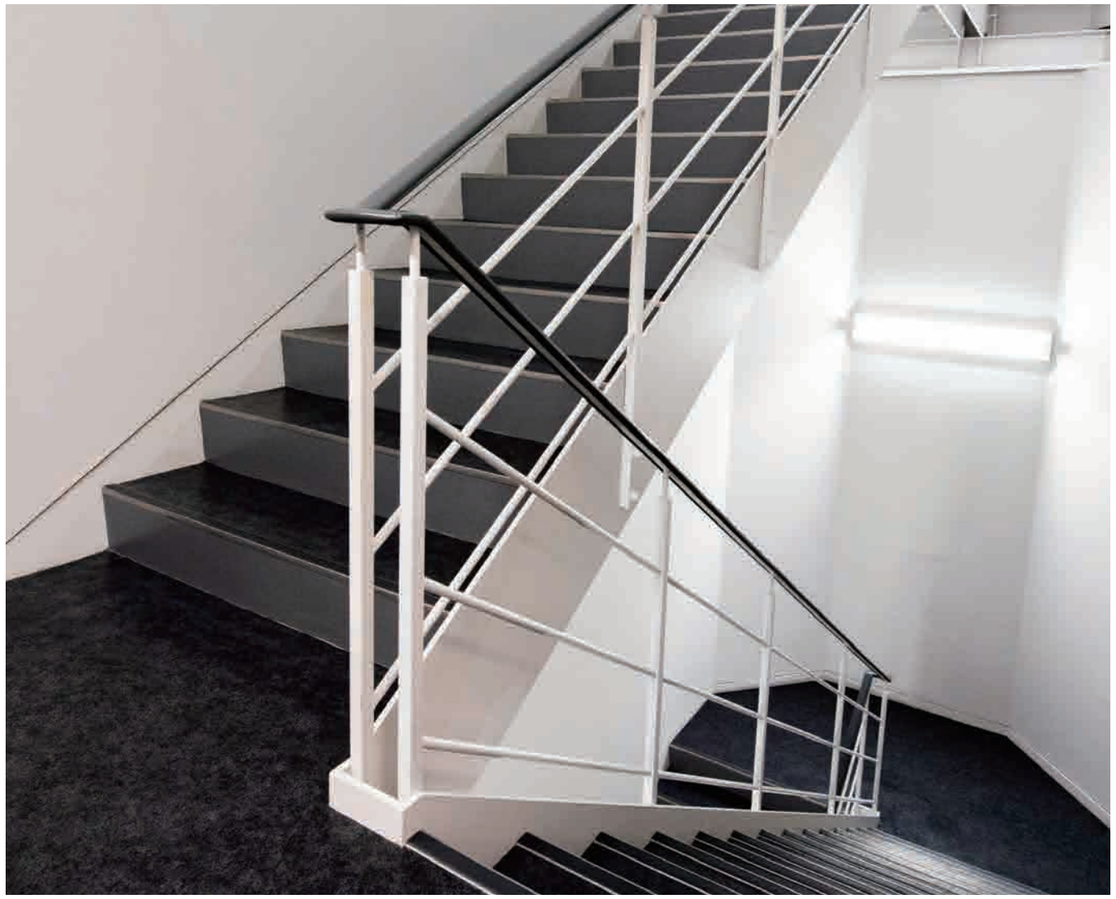
枝番	笠木	支柱	桟(組子)
01	Ø40丸ビニハン	Ø34×2.3	Ø21.7×1.9
02	Ø40丸ビニハン	Ø34×2.3	Ø16RB
03	Ø40丸ビニハン	Ø27.2×2.3	Ø16RB
04	Ø34丸ビニハン	Ø34×2.3	Ø21.7×1.9
05	Ø34丸ビニハン	Ø34×2.3	Ø16RB
06	Ø34丸ビニハン	Ø27.2×2.3	Ø16RB

施工例



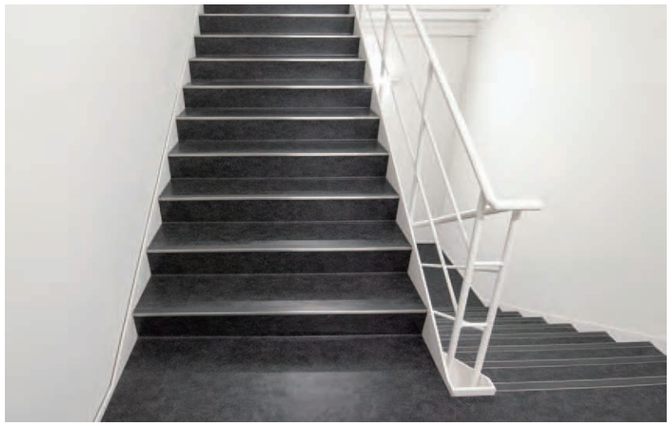
笠木 丸　支柱 丸　桟 丸

Y01 P.14



笠木 FB　支柱 角　桟 丸

Y07 P.17

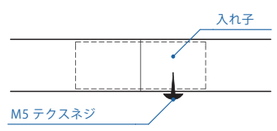
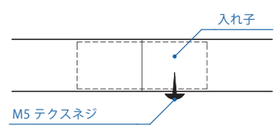
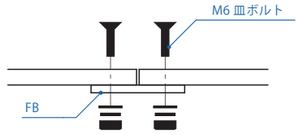


笠木 丸　支柱 丸　桟 丸

Y01 P.14

笠木（吹き抜けまわり）・足元の取付タイプを選べます。

笠木（吹き抜けまわり） ── めっき仕様の場合

	丸パイプ	角パイプ	FB
段ずれパターン			
段ぞろえパターン			
現場ジョイント部			

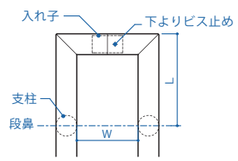
※さび止め仕様の場合、ジョイント部は溶接になります。ボルト・ビス類は使用しません。

丸パイプの笠木を踊場部分で連続してつなげる場合の注意点

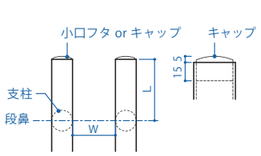
丸パイプで笠木の踊場部分を連続してつなげる場合には W:30mm 以上、L:70mm 以上（標準は 100mm）が必要です（図面 A）。W:30 未満または、L:70mm 未満の場合には笠木の踊場部分は連続してつなぐことができませんので、笠木には小口フタ、またはキャップが付く仕様になります（図面 B）。

※詳細につきましては弊社担当者とご相談下さい。

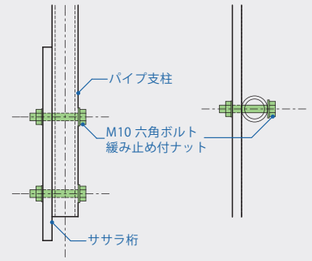
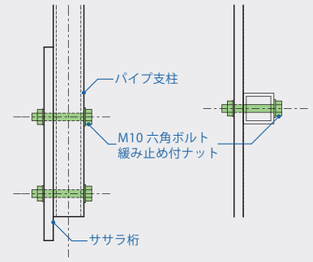
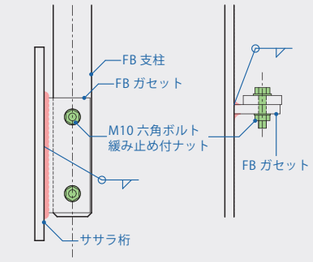
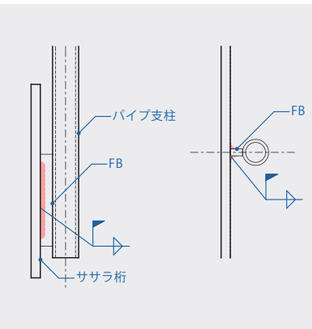
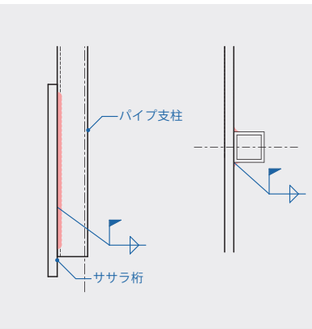
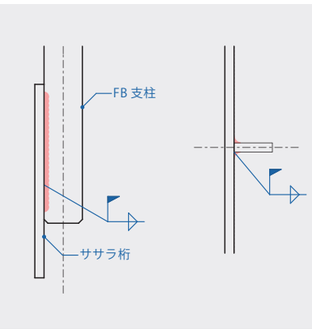
図面 A
（W：30mm 以上、L：70mm 以上）



図面 B
（W:30mm 未満 or L:70 未満）



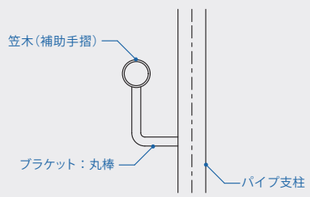
足元取付

	支柱丸パイプ	支柱角パイプ	支柱FB
ボルト止めタイプ			
溶接止めタイプ			

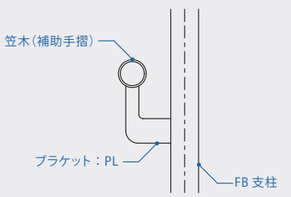
※標準仕様でパイプ支柱の底面に小口フタが付きますが、溶融亜鉛めっき仕様の場合は湯抜きのため小口フタは付きません。
※溶接止めの場合、階段設置後の取付けとなります。

補助手すり

丸パイプ支柱



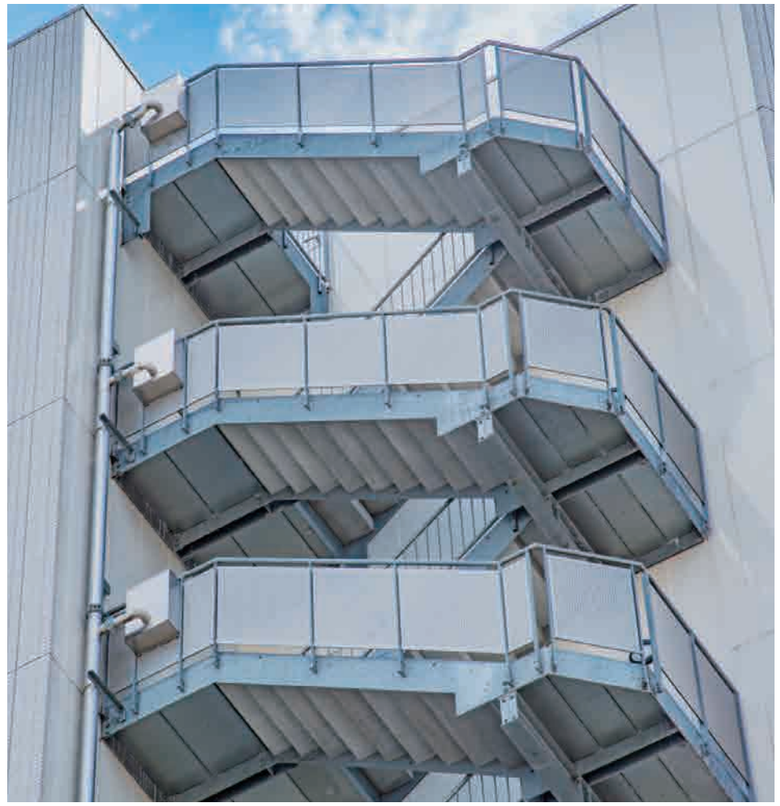
FB支柱



2 外部階段用手すり

風雨にさらされる外部階段にとって、防錆性能の向上とフリーメンテナンス性の追求は常に課せられる命題でした。その解決のため、階段とともに開発に試行錯誤を重ねてきたのがヨコモリの外部用手すり。部材のバリエーションも多彩で建物にマッチした美観との両立も可能です。

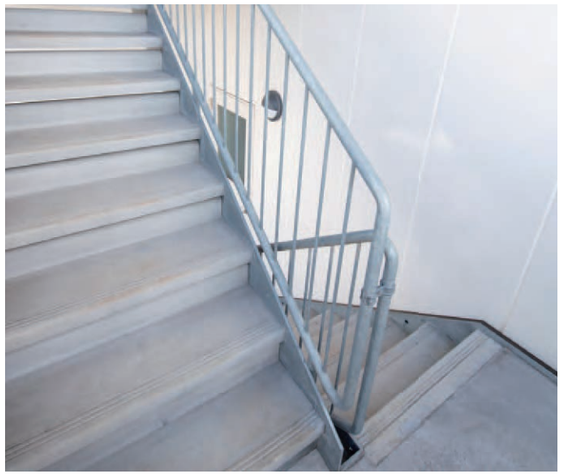
bon 手すり

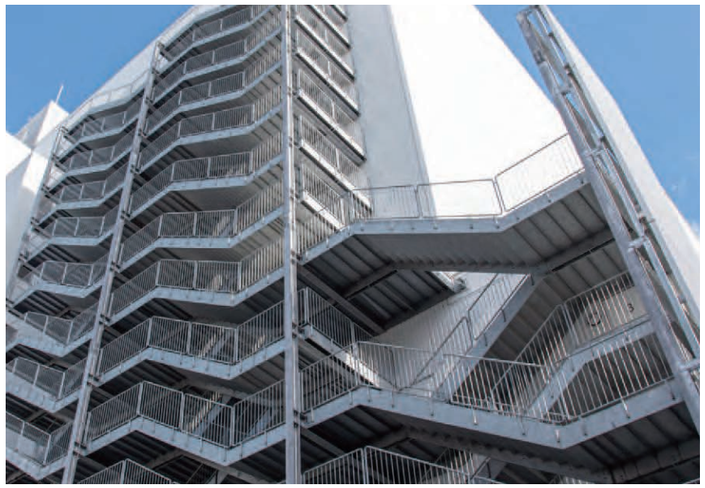


パネル手すり

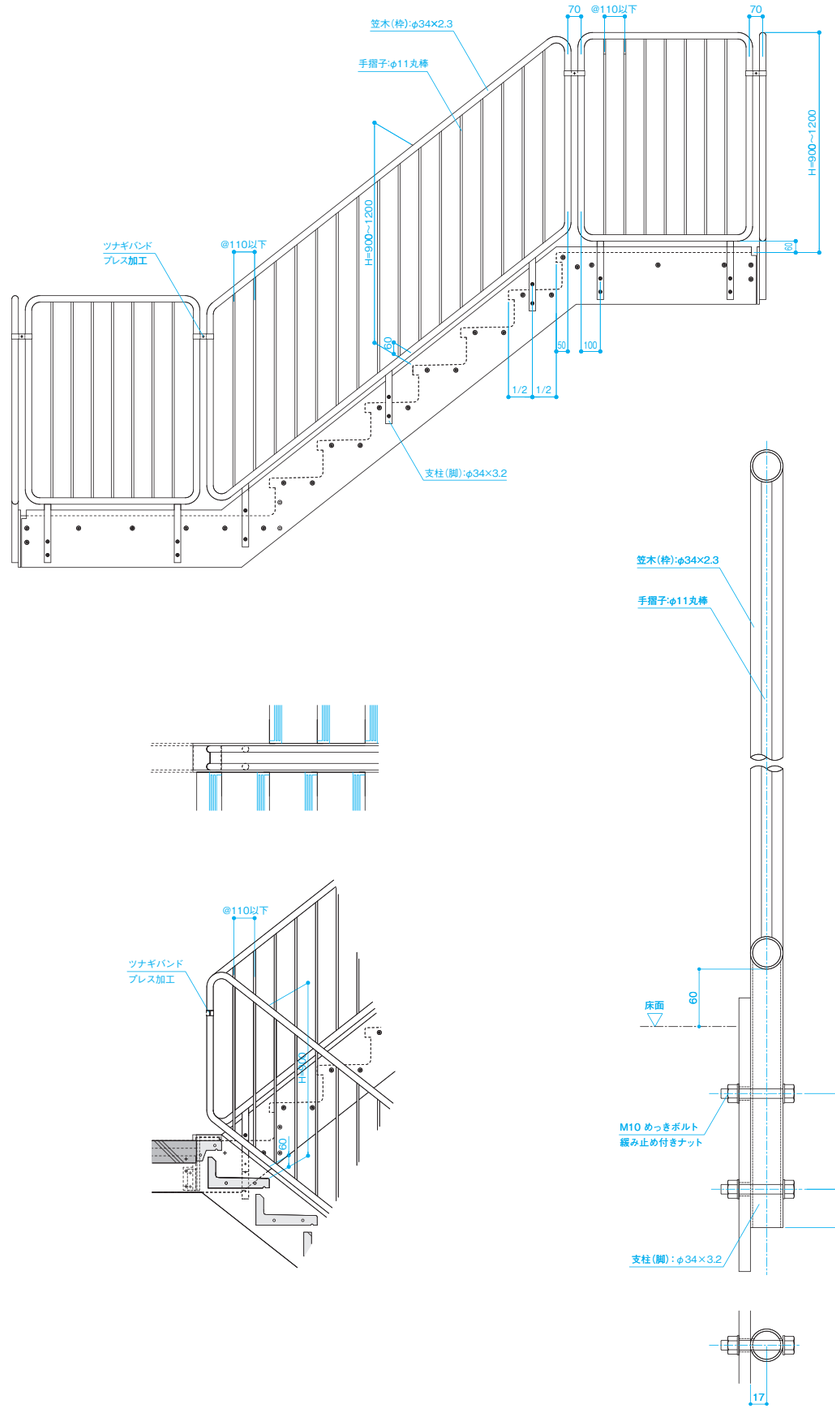
bon手すり

溶融亜鉛めっき仕様の高い防錆性と堅牢さによる抜群の耐久性。
シンプルなデザインで、長年愛されてきたロングセラー製品です。





詳細図



パネル手すり

視認性や意匠性を考慮したスタイリッシュなデザイン。建物や周囲の景観に合わせてフレキシブルにパネルデザインを選べます。建物高層部での視認的恐怖感を緩和する効果もあります。

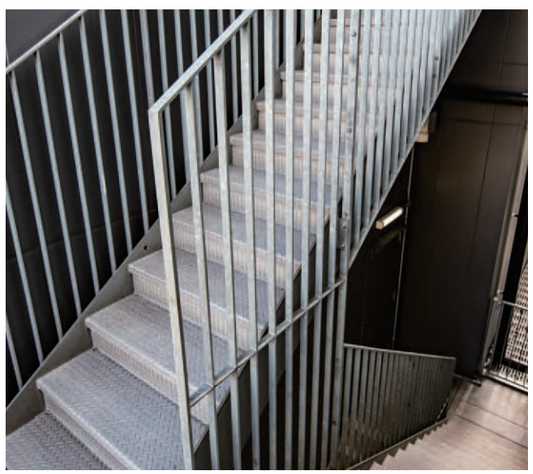
フラットパネル手すり

パンチングパネル手すり

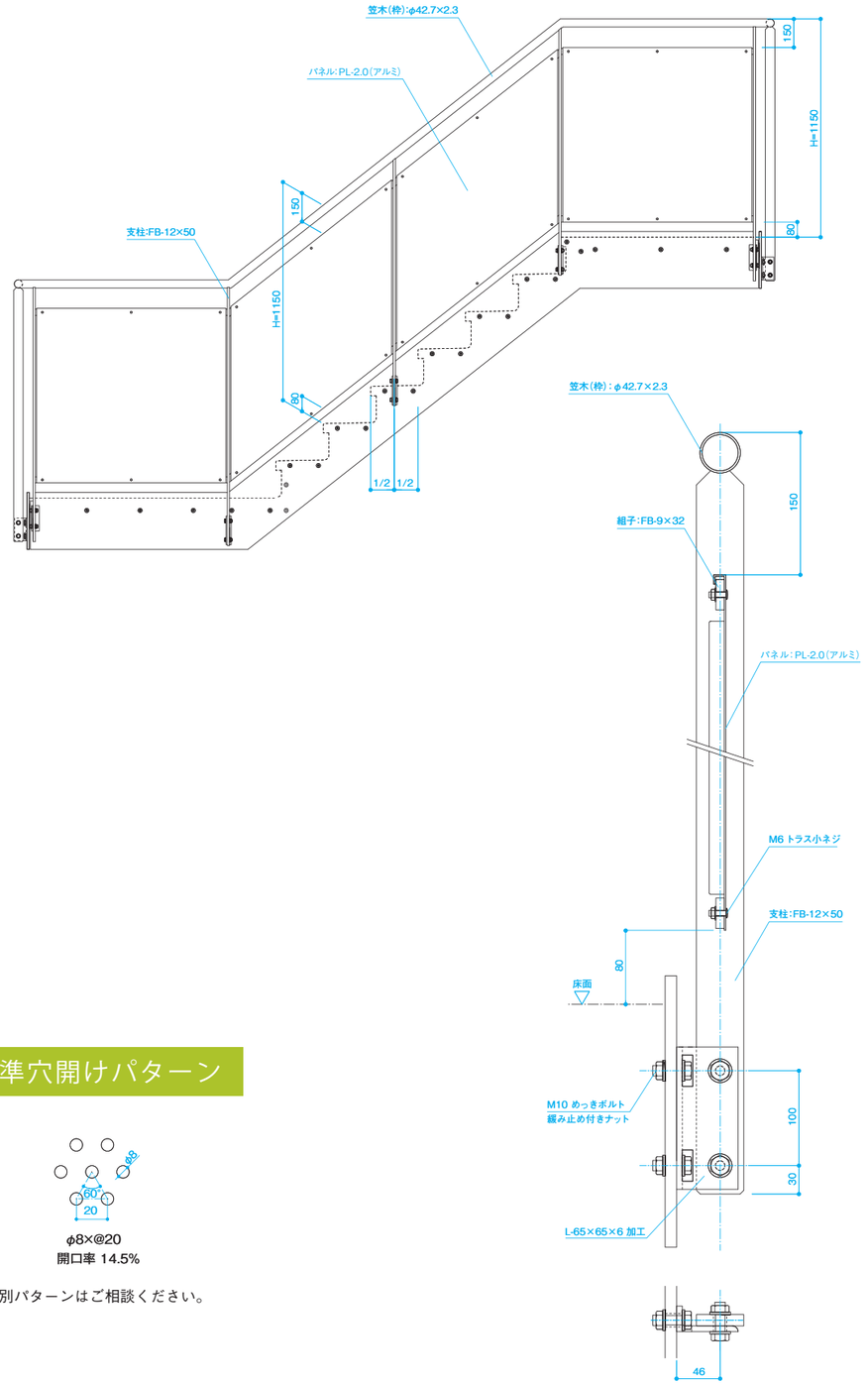
ハーフパネル手すり

面格子手すり

吹き抜け寸法が確保できない場合の推奨タイプ。吹き抜け幅が狭い場合ご検討ください。内部階段用、外部階段用どちらも製作可能です。



詳細図



標準穴開けパターン

φ8×@20
開口率 14.5%

※別パターンはご相談ください。

建築空間をハイグレードに演出

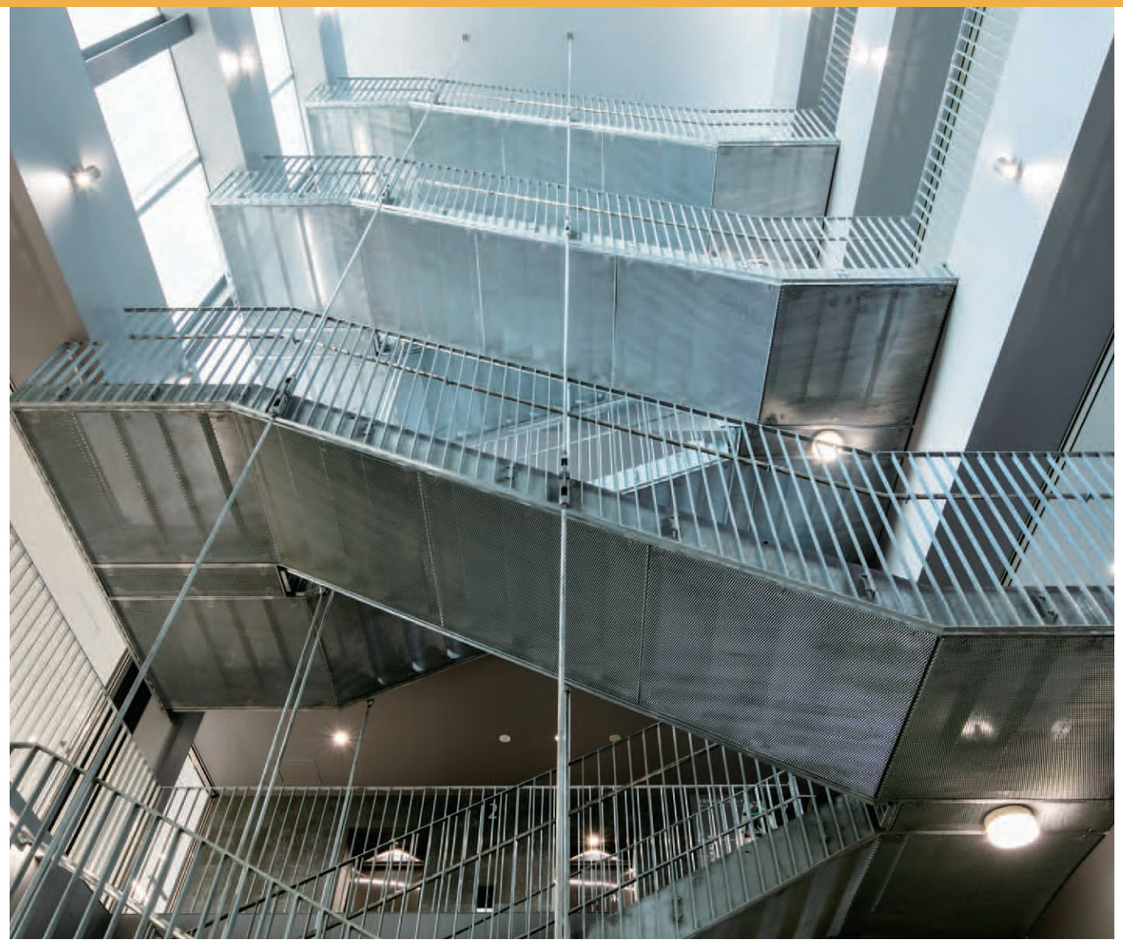
3 フリーデザイン装飾手すり

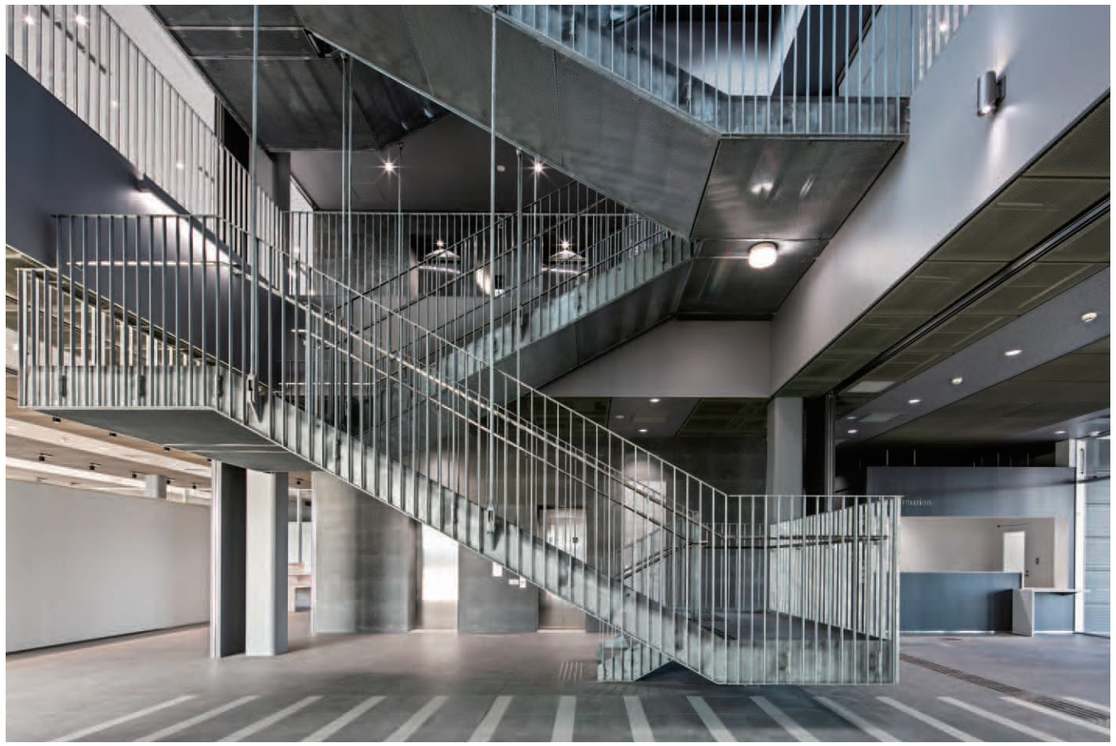
ホテルやショッピングセンター、ターミナルビルなどのハイグレードな建築空間。その中で階段は、建築物にとって重要な顔の一つとなりえます。そんな階段により一層の格調と個性を優美に表現するのが手すり。伝統の職人技による手作りのものから高精度なシステムにより自動生産されるものまで。ヨコモリの培ってきた技術があらゆる空間演出に対応します。

西南学院中学校・高等学校

パソナ大阪

金茂タワー（中国）





双葉町産業交流センター（F-BICC）

白井屋ホテル